



2009年3月25日

各 位

会 社 名 日本電気硝子株式会社  
 代表者名 社 長 井筒 雄三  
 コード番号 5214 東証・大証第一部  
 問 合 せ 先 取締役専務執行役員 阿閉 正美  
 TEL 077(537)1700

### 業績予想の修正並びに四半期業績の見通しに関するお知らせ

#### 1. 平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)業績見込み(業績予想の修正)

最近の業績動向を踏まえ、連結、単独ともに、去る12月25日に公表した平成21年3月期の通期業績予想を以下のとおり修正いたします。

##### (1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	310,000 ～340,000	55,000 ～70,000	45,000 ～60,000	20,000 ～30,000	40.20 ～60.30
今回修正予想(B)	336,000	74,000	62,000	22,000	44.21
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
前期実績	368,267	100,882	96,942	50,668	105.29

##### (2) 単独

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	250,000 ～280,000	45,000 ～60,000	45,000 ～60,000	20,000 ～30,000	40.20 ～60.30
今回修正予想(B)	271,000	64,000	60,000	24,000	48.23
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
前期実績	303,616	92,592	93,740	53,081	110.30

##### <備 考>

第3四半期(平成20年10～12月期)に引き続き第4四半期(平成21年1～3月期)においても、当社の事業環境は、多くの分野で大幅な減産を余儀なくされるなど厳しい状況にあり、第4四半期の業績は第3四半期の実績を下回る見込みです。なお、市場の動向などを踏まえた資産の整理・縮小の実施その他の要因により、第4四半期については連結ベースで、営業外損益(純額)が70億円程度の損失に、また特別損益(純額)が200億円程度の損失になる見込みです。

#### 2. 平成22年3月期 第1四半期(平成21年4月1日～6月30日)の見通し

第1四半期も依然として厳しい事業環境が続く見通しです。需要の低迷や製品価格の下落、減産の継続に伴う収益面への影響などが業績を引き続き圧迫するものと予想されますが、当社といたしましては、需要動向に対応した稼働を行い、在庫の圧縮・適正化と費用の削減に注力し、キャッシュ・フロー重視の事業運営を推し進めてまいります。

第1四半期の業績としては、前年同期比較で、売上高は－50%～－40%程度を、また営業利益は－110%～－80%程度を予想しております。

上記の見込み数値は、現時点での合理的な判断によるものであり、実際の業績はこれらと異なる可能性があります。

以 上